令和７年度北海道こどもの意見反映推進事業

フィードバック資料

ヒグマ対策について

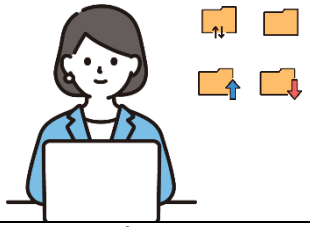
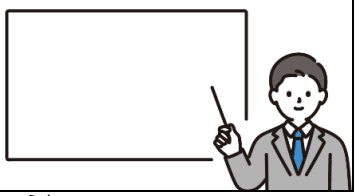
北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課ヒグマ対策室

（1）　意見募集の概要

	対面	インターネットなど
いつ	令和７年７月23日～11月12日	令和７年９月30日～12月５日
どこで	北海道内の４か所の学校	オンラインなど
だれに	生徒会に所属している人や、クラスの人など 153名（意見：1,493件）	北海道に住んでいるすべてのこども・若者（意見：485件）
方法	学校を直接訪問して、ファシリテーターと対話しながら、思ったことを付箋に書き出してもらう方法で意見を聴きました。	匿名のＷＥＢアンケートや、訪問した学校以外でも同じ取組をしてもらい、意見を聴きました。
設問１	野山でヒグマに会わないようにするためには、どのようなことが大切だと思いますか？	
設問２	学校や家の周りにヒグマを近づけさせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？	

（２）意見の検討方法

沢山の意見をもらったので、次のような方法で検討を行いました。

順番	内容
①	学校訪問やWEBアンケートで、意見をもらう。
②	もらった意見を、担当する係の人が全部読む。
③	似ている意見をグループごとに分ける。 
④	分けたグループごとに、反映方法を検討する。
⑤	反映結果を資料にまとめて、ホームページで発表する。 

※グループごとに分けた意見の一覧は、こちらのHPで公開しています。

（URL：https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/r6iken.html）

（3）意見の反映先

みなさんからいただいたご意見を次の取組に反映しました。

- 人の生活エリアにヒグマが入り込まないようにするため、ヒグマのエサとなる農作物の管理や電気柵の設置、人とヒグマをすみ分ける対策に力を入れることにしました。

- ヒグマがゴミステーションを荒らしたり、人の生活エリアにヒグマが入り込まないようにするため、見通しをよくするための草木の刈り払いや電気柵の設置などの対策に力を入れることにしました。

（4）意見のポイントと活用方法

設問１：野山でヒグマに会わないようにするためには、

どのようなことが大切だと思いますか？

意見のポイント	活用方法
１．存在のアピール（音・光）	ヒグマは本来怖がりな動物で、遠くに人がいるとわかるとヒグマから人を避けてくれることが多いです。 いただいたご意見のとおり、「あらかじめ人の存在をヒグマに伝えること」はとても重要です。 今後もパンフレットやインターネットなどを使ってみなさんにその大切さを伝えていきます。
熊鈴をつける/音楽とか鈴とか大きな音を鳴らす/自分がいることをクマにアピールする	
２．複数人での行動	
なるべく複数人で行動する/子どもの場合は大人と一緒に行く/一人で行動しない	

意見のポイント	活用方法
3．情報収集・状況の把握	
山の情報を調べる/クマの出現した場所や山を事前に調べる/野山に入らない/クマの足跡・フンを見たら、そこから逃げる/ハザードマップ的なのをつくる	いただいたご意見のとおり、事前にヒグマの出没情報をインターネットなどで調べ、ヒグマがいそうなところには行かないことでヒグマにあうことを避けることができます。また、足跡やフンなど、山でヒグマの痕跡を見かけたら安全のために引き返しましょう。 今後もインターネットや SNS などを使ってヒグマ出没情報をみなさんにお伝えしていきます。
4．食べ物・匂い・ゴミの処理	
食べ物を持っていかない/食べ物の匂いを出さない/匂いがキツイものを食べたり身に着けない/ 食べ物のゴミを捨てない/生ゴミや食べ残しを出さないようにする	ヒグマはとても学習能力が高く、一度人の食べ物の味を覚えてしまうと、それを目当てに人の生活する場所にくり返し出てきてしまうことがあります。 いただいたご意見のとおり、「ヒグマに人の食べ物を与えないこと」、「生ゴミなどを放置しないこと」が大切です。 今後もパンフレットやインターネットなどを使ってみなさんにその大切さを伝えていきます。

意見のポイント	活用方法
5．対策グッズ クマスプレーを持っていく/武器を持つ/クマ対策グッズを用意する/カラーボールや防犯ブザーなど防犯グッズを身に着ける	何よりもヒグマにであわないことが大切ですが、もしもヒグマに出会ってしまった時のために、「身を守るための対策グッズ（クマ撃退スプレーなど）を持っておく」ことや、「遠くで見たら静かにその場を離れる」、「背中を向けて走って逃げない」など、襲われないための対処法を知っておくことも大切です。今後もパンフレットやインターネットなどを使ってみなさんにその大切さを伝えていきます。
6．クマに遭った場合の対応 見つけても走らない/背中(後ろ)を見せない/後ろにゆっくり下がる/大きく手足を広げる/遠くでヒグマを見たら離れる/クマに近寄らない/ヒグマと目を合わせながら後ずさりすることが大事	
7．防除対策	
クマが来るような状況にしない/人里に果実を作らない/電気柵を設置する/クマと人との生活スペースをはっきりさせる	みなさんからいただいたご意見を次の取組に反映しました。人の生活エリアにヒグマが入り込まないようにするため、ヒグマのエサとなる農作物の管理や電気柵の設置、人とヒグマをすみ分ける対策に力を入れることにしました。

設問２：学校や家の周りにヒグマを近づけさせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？

意見のポイント	活用方法
１．ポスター・看板 「ゴミを捨てるな」というポスターを作る/電柱や塀、ゴミ捨て場、学校、役場など、人がよく通るところや集まる場所に貼る/ポスターに理由を詳しめに書く ２．メディア・SNS CM をつくる/テレビで大々的に放送する/市や町のホームページ、北海道庁の公式 YouTube、インターネット、SNS で発信する ３．回覧板・連絡網 町長や偉い人がみんなに言う/新聞やチラシ、学校のプリント、町の連絡網などで呼び掛けや注意喚起を行う	生ゴミなどを放置するとヒグマを引き寄せてしまうので、ゴミ出しのルールなどをみなさんに守ってもらうことが大切です。 いただいたご意見も参考にしながら、ポスターやインターネット、SNS などを使いながら、効果的にその大切さを伝えていきます。

意見のポイント	活用方法
4．罰則・法律	
ポイ捨てしたら逮捕、罰金の法律を作る/生ゴミが放置されていたら罰金を科す/ゴミ出しを有料化させて減らす	不法なゴミ捨てに対する罰金やゴミ出しの有料化は既に行われていますが、そもそも罰金がなくてもみなさんに決まりを守ってもらえるようにしていきたいですね。 今後の対策のヒントとなるご意見をいただきありがとうございます。
5．対策（匂い・音）	
クマの苦手な匂いを出す/クマの苦手な音を出す/ゴミ箱にクマの嫌がる大音量スピーカーなどをつける	ヒグマが苦手な匂いや音が見つけられると対策に役立てられそうですね。 今後の対策のヒントとなるご意見をいただきありがとうございます。
匂いの強い物を近くに置かない/袋を二重にする/匂いを封印する	いただいたご意見のとおり、匂いの強い物を放置するとヒグマを引き寄せてしまう可能性があるため、生ゴミなどの放置の禁止やゴミ出しのルールなどをみなさんに守ってもらうことが大切です。 今後もパンフレットやインターネットなどを使ってみなさんにその大切さを伝えていきます。

意見のポイント	活用方法
6．ゴミに関する対策の改善	
森と街の境や山の周りに電気柵をつくる/ゴミステーションをクマが荒らせないようにする	みなさんからいただいたご意見を次の取組に反映しました。 ヒグマがゴミステーションを荒らしたり、人の生活エリアにヒグマが入り込まないようにするため、見通しをよくするための草木の刈り払いや電気柵の設置などの対策に力を入れることにしました。
7．危機管理能力の教育	
クマの事件例を具体的に説明し、皆に恐怖を植え付ける/教育現場でクマの恐ろしさを発信する/クマに襲われるVR体験をする	クマのことを伝える際に、恐怖を与える方法は、みんながクマを嫌いになってしまうので、できるだけ正確な情報を伝え、ヒグマという動物を理解してもらうことがいざという時の正しい判断と行動につながると考えています。 今後もヒグマについての正しい理解の普及に努めていきます。 今後の対策のヒントとなるご意見をいただきありがとうございます。

8．監視・取締		
	監視カメラをつける/ドローンのような動くカメラでポイ捨てしないように人々を監視する/ゴミ監視課をつくる	監視をしなくても、みなさんに決まりを守ってもらえるようにしていきたいですね。 今後の対策のヒントとなるご意見をいただきありがとうございます。
9．お金・景品		
	ちゃんと捨てたらお金がもらえるようにする/ポイ活にする（ちゃんとゴミ置き場に捨てたらポイントがもらえるなど）/ゴミ拾いマラソンを開催し、拾ったゴミの量に応じて景品がもらえる。	お金やポイントなどをもらわなくても、みなさんに決まりを守ってもらえるようにしていきたいですね。 今後の対策のヒントとなるご意見をいただきありがとうございます。